



ふれあい 放水路

1994
(平成6年)
第7号
10月



神戸川秋の風物詩 〜四ツ手網漁〜

夏の終りから秋にかけて、夜明けあるいは夕暮れ時になると、神戸川中流部で四ツ手網によるアユ漁が見られます。

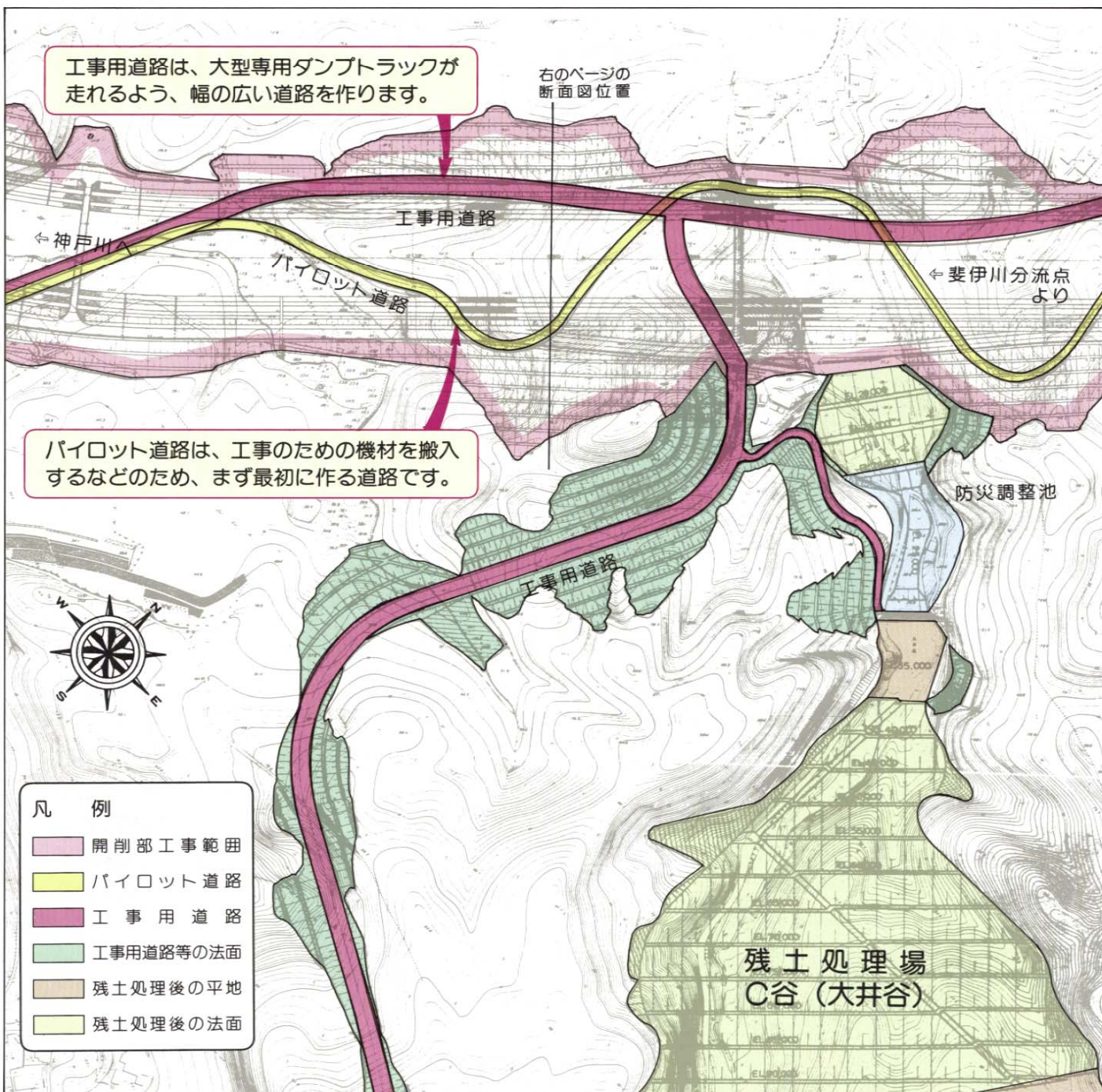
馬木大井堰付近のあちこちに、竹と畳約四畳分の網で作られた大きな四ツ手網が設置してあります。朝夕にそれを下ろし、アユが網の上を通るのを見計らってゆつくりと引き上げます。四ツ手網の漁は、秋に産卵のために川を下る「落ちアユ」を狙います。

雨が降ると、雨による増水に乗ったアユが何十匹も捕れるそうです。川の水の流れ具合や濁り具合によって網を引き上げるタイミングは違いますが、それは長年の経験から分かるものでしょう。

今年は記録的な渇水であったために、「今年は雨が降らんけん、アユも捕れませんわ」と漁師さんたちは口をそろえて言われます。

アユは清流に生息すると言われていますが、ずっとアユのいるきれいな川であってほしいですね。

■ 工事用道路とパイロット道路



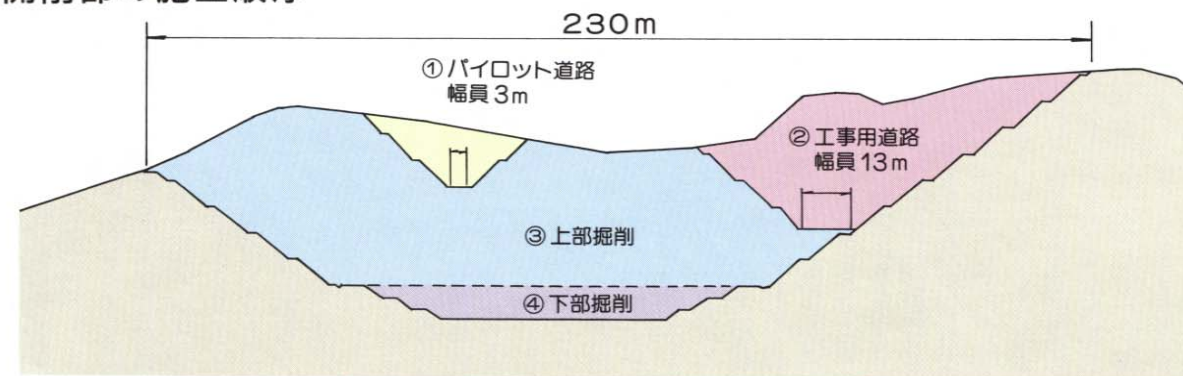
※このルートは工事の施工にあたって変更することもあります。

斐伊川放水路の施工について

その3 開削部の施工手順

斐伊川放水路の工事を進めていく上での基本的な考え方や手順について8月号より紹介しています。今回は、開削部の施工手順について紹介します。

■ 開削部の施工順序



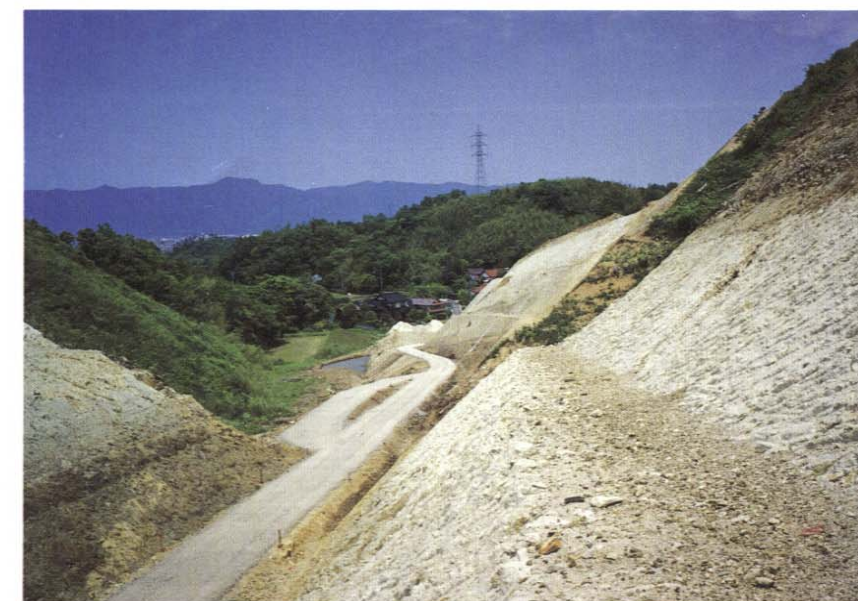
2. 開削部は山を掘削するため、処理する土は膨大な量になります。その土は大型の専用ダンプトラックで残土処理場まで運搬しますが、そのために掘削に先がけて幅の広い工事用道路（運搬路）を作ります。

1. 開削部の施工手順は、上図のとおり、機械搬入などのためのパイロット道路を先行して施工し、工事用道路、上部掘削、下部掘削の順に進めていきます。

3. 掘削は、工事区域に降った雨がそのまま流出したり、掘削した土砂が、雨水と一緒に流出しないようにするための施設（防災調整池）を下流の半分地区に作った後、下流から着手し、順次上流に向かって実施していきます。

4. 残土処理場の施工順序は、谷部にある既存道路の機能の確保を考慮して、下流C谷（大井谷）からA谷（蟹谷）、B谷（狐廻谷）の順に工事を実施します。各谷の下流には、残土を処理する前に、防災調整池を作ります。
注）斐伊川放水路事業で発生する残土は、残土処理場だけでは全てを処理することができません。そこで現在は、古志地区や朝山地区の土地改良事業に残土を利用しています。

5. 切土（掘削）や盛土工事によってできる新たな法面（斜面）は、順次緑化処理を行い、土砂の流出、濁水の発生を抑えます。



半分地区～大井谷地区に施工したパイロット道路

工事情報
コーナー

放水路用地の除草

除草は、放水路事業に提供していただいた用地の美化を保つことと、害虫の発生を押さえるなどの目的をもっており、開削部の山地を除き、約一四〇ヘクタールについて実施しています。除草の方法は、平坦で広い場所では機械によって、畦や道路肩など狭い場所では人力により行います。今年予算成立の遅れなどから除草の開始が八月にずれ込み、皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、第一回は九月中旬に完了しました。現在第二回目の除草を実施中です。これからも事業用地の美化に努めていきます。

除草風景



「懐しいあの頃」

昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しする際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



**建設省中国地方建設局
出雲工事事務所**

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

ふれあい放水路 通信

十月十八日(十月十八日)は
土木の日

「土木」の重要性を広く一般の人に理解・認識してもらうために次の行事を行います。

斐伊川展(土木フォトコンテスト展示会)

- とき 十一月十四日～十八日
- ところ 出雲市内 パラオーF

工事見学会

一般応募による志津見ダムと放水路予定地内の文化財の見学会を十一月十八日(金)午後一時から行います。みなさまからの参加をお待ちしております。

- 対象 一般 二十五名
- 申込み 十一月十日までにふれあい放水路担当まで
☎(0853)21-1850
- 集合場所 出雲工事事務所